

鉄道輸送障害時の代替輸送の課題

平成27年4月13日

ヤマト運輸株式会社

| 課題 | 要望 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナの取り出し・ピックアップが困難 ・情報の精度（復旧期間） ・迂回列車の本数設定が少ない ・代車手配（コンテナ専用車）が困難 | <p>【①環境整備】</p> <p>→鉄道輸送の冗長性や安定度を高める施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフレールステーションなどを一定距離毎に設置・拡充して、コンテナ取り出しや保管などができるようにして欲しい。 ・主要線区に対し、あらかじめ必要な本数の迂回ルートを検証・設定し、基準を超える障害発生時には速やかに移行できるようにして欲しい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・代替手段のコストが高い（エアー） ・代替手段のリードタイムが合わない（フェリー） | <p>【②代替手段の促進策】</p> <p>→代替手段を確保し、活用しやすくする為の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航等代替利用の促進制度の検討。平常時は使用しないが、鉄道障害時にのみ活用したいというのは困難な為、一定程度維持できるような仕組みの検討。（例：荷量の計画的な分散。コスト補助など） ・リードタイム向上の為の施策に対する補助。 |
| | <p>【③仕様・規格の統一】</p> <p>→障害発生時の代替手段への移行を迅速におこなう施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上コンテナと鉄道コンテナのシャーシ仕様の共有化、緊締装置の共有化。 ・ロールボックスパレット等の統一された仕様でのユニット化。 |